

科目名 科目コード	生活援助技術 I 106	必修科目	1年次 1学期	講義・演習	2単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 加悦 美恵				
科目担当者	医学部看護学科 森本 紀巳子、平原 直子、宮本 いずみ、中山 麻由、臼井 麻里子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> あらゆる看護場面において、さまざまな健康段階・発達段階にある人々の看護の基盤になる日常生活行動に関わる援助方法について、基礎的な知識・技術・態度を学修する。 人間の生活行動の“身体の動き”や“清潔行為”に規制や障害のある人の援助を行うために必要な基礎的な看護技術および知識、態度を身につける。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 臥床患者を動かす重要性の理解と人間の自然な動きのメカニズム、ボディメカニクスの原理を活用した体位変換および移動・移送の方法を身につける。 内容：体位変換と体位の安定（仰臥位、側臥位、ファーラー位、端座位、立位）、車椅子・輸送車への移乗と移送方法など。 ボディメカニクスの原理・原則および身体の構造、皮膚の機能をふまえ、患者へ配慮しながら身体の清潔に関する援助技術を安全に実施することができる。 内容：安静臥床患者のシーツ交換、寝衣交換、オムツ交換、顔～身体の清潔、ケリーパードによる洗髪、陰部の清潔ケアなど。 <p>具体的な学習目標、学習内容については授業時に提示する。</p>				
授業計画	<p>第1・2回 ガイダンス、ボディメカニクス、ベッドメイキング</p> <p>第3・4回 ベッドメイキング、長時間同一体位保持体験</p> <p>第5・6回 運動・休息に関する援助技術、体位変換、体位の安定</p> <p>第7・8回 清潔に関する援助技術、シーツ交換</p> <p>第9・10回 寝衣交換、オムツ交換</p> <p>第11回 前半まとめ</p> <p>第12・13回 全身清拭</p> <p>第14・15回 全身清拭、足浴</p> <p>第16・17回 洗髪</p> <p>第18・19回 陰部の清潔ケア、褥瘡ケア、環境整備</p> <p>第20・21回 車椅子・輸送車による移乗・移送の援助</p> <p>第22・23回 総合演習（最終まとめ）</p> <p>A, Bクラス別授業である。詳細はガイダンスで配布するスケジュールを参照のこと。</p>			<p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p> <p>担当者全員【講義・演習】</p>	
テキスト	必要時資料配布				
参考書	<p>深井喜代子編：新体系看護学全書基礎看護学② 基礎看護技術 I、メヂカルフレンド社、2012</p> <p>阿曾洋子、井上智子、氏家幸子：基礎看護技術（第7版）、医学書院、2011</p> <p>他の参考書については、授業中に紹介する。</p>				
評価方法	<p>筆記試験 40%、実技試験 60%として総合評価する。</p> <p>出席状況とレポートならびに演習時の身だしなみが適切でない場合は減点の対象となりうる。</p>				
授業にむけての準備学習	<ol style="list-style-type: none"> 授業は、学内実習を中心に行う。実習室使用時の留意事項を守ること。 配布資料をファイルして活用すること。 履修にあたっては「看護学概論 I」「からだの構造と機能 I」で学修する知識と関連させながら、学ぶ姿勢をもって臨むこと。 				